

あけましておめでとうございます。

平成 29 年の輝かしい新春をつつがなくお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、村民の皆様のご理解とご協力のお陰をもちまして、それぞれの事業を順調に進めることができ深く感謝申し上げます。

また、地震や風水害などが全国各地で発生した年でもありましたが、本村においては、幸い大きな自然災害もなく、無事に越年できたことを共に感謝したいと思います。

平成 23 年 3 月の東日本大震災や、昨年の熊本などの大災害の復興に向けた動きは、日本人の絆の強さと互いを思いやるコミュニティの強さをあらためて感じたのは私だけではないはずで

では、これらの力はどこから生じ育まれたのでしょうか。

昨年の全国町村長大会で講演された東京大学神野直彦名誉教授は、子どもが育つ環境について、「木々の緑が作り上げていく木陰の下で育つこと」、もう一つは、「人間の絆が作り出す木陰で育つこと」が重要であり、自然環境とコミュニティという人的環境の豊かな町や村こそが人材を育成する環境であると話されました。

これこそが、本村が総合計画に掲げた地域力であると思います。

東白川村が消滅自治体にならないように『人が輝く 地域力のある村 東白川村』の実現を目指して、本年も引き続き邁進してまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます

さて、昨年は 4 月に「みのりの郷東白川株式会社」を設立し、新しい農業振興への取り組みが始まった記念すべき年でした。

村の農業全体を考えたとき、この新会社に対する期待と希望が膨らんできており、新年度にはしっかりと運営体制を構築し、様々な農業振興策を確実に前進させていきたいと考えております。

子育て支援では、保育料の無料化を実施するなど少人数ならではの保育、学校教育を充実して参りました。

引き続き、中学校の運動場の整備や「はなのき会館」の大規模修繕事業を確実に実施してまいります。

医療福祉の分野では、神土地区のふれあいサロンに続いて五加地区にサロンを建設中であり、春の完成が待ち遠しいところです。

越原地区の交流サロン建設についても準備を始めております。

また、医療福祉ゾーンの整備事業においては、名古屋商科大学様からセミナーハウス跡地をご寄付いただけることが正式に決定いたしましたので、29 年度において、整備計画に沿って老人福祉施設と診療所を新設移転する準備に入ります。

詳しくは、2 月に予定しております集落座談会でその内容をご説明してまいります。

本年の抱負の一端を述べ、結びに今年一年が皆様にとって素晴らしい年になりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。

平成 29 年 1 月

東白川村長 今井俊郎